

比類無き技術力はリペアの次世代を担う!

MULTI STICK PRIMER

超強力密着性能により耐候性UP!

部材と塗料を強力に密着させ、耐候性をより高く仕上げる為には、
 しっかりとした下地処理が必要となってきます。
 マルチスティックプライマーなら、塗料の密着しにくい対象物でも、
 強力な密着を得ることができます。



スプレータイプなので
 手軽に下地処理ができます。

合成樹脂クリアー塗料

マルチスティックプライマー

乾燥が早いので、作業時間短縮!
 重金属類は、一切使用していない為、環境衛生面に配慮した製品です。

火気厳禁

第1石油類 210ml 危険等級 II
 詳細な内容が必要な場合は、製品安全データシート (MSDS) を
 ご用意しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

用途

幅広い素材に対して
 強力な密着用下地塗料

乾燥時間

20~30分
 (気温20℃湿度60%)

容量

420ml

合成樹脂クリアー塗料

REPAIR PAINT
SERIES

マルチスティックプライマー

使用方法及び注意

- ① 金属面、焼付塗面、及び塗装面の油や他の汚れを、脱脂洗浄処理剤で取り除いて下さい。
- ② マルチスティックプライマーを被塗面から10～20cm位離し、薄く均一にスプレーして下さい。
- ③ 20～30分（常温時）乾燥時間をとって上塗りして下さい。
温度の低い時、高湿度の時は、十分な密着が得られない場合があります。その場合は前もって被塗面を暖めるか、塗装後暖めるようにして下さい。

試験データ

■ 塗装可能な被塗物と密着性能

素 材	マルチスティック プライマー	従来の 一般密着剤
アルミニウム	◎	△
アルマイト加工品	○	△
ステンレス	◎	△
ガルバリウム	◎	△
スチール	◎	◎
焼付塗装塗膜	◎	○
電着塗装塗膜	◎	○
クロムメッキ	○	○
ポリプロピレン (PP)	○	
ポリカーボネイト	○	△
硬質塩ビ	○	△
ABS	○	○
FRP	○	○
アクリル板	○	△
メラミン化粧板	○	△
ガラス・ホーロー	○	

■ 適正な上塗り塗料の例

塗 料	マルチスティックプライマー
2液反応硬化型アクリルウレタン塗料	◎
アクリルラッカー塗料	○
アクリルエマルジョン	△
メラミン焼付塗料 (150℃程度)	◎
合成ペンキ フタル酸エナメル塗料	△

※密着の難しい素材へのテストは、広範囲に繰り返し行い、優れた結果は記載の通りですが、新しい素材も次々開発されておりますので、経験の無い素材へのご利用は念のため試験するか、お問い合わせ下さい。

保管・廃棄の注意

1. 子供の手が届かないところに保存し、幼児が誤飲・誤食しないよう注意してください。
2. 残った塗料はふたをし、直射日光のあたる所、自動車内、暖房器具や火花などが散る周辺には、破裂する危険があるので置かないでください。
3. 缶のサビによる破裂を防ぐため、水回りや湿度の高い場所に置かないでください。
4. やむを得ず残ったプライマーを捨てる時は、火気のない屋外で新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから、一般ゴミとして処分してください。
5. 容器を捨てる際には、中のプライマーとガスを十分に（噴射音が消えるまで）抜き、他のゴミとハッキリ区別して処分してください。
6. 内容物や容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託してください。

取扱上の注意

1. 表示の用途以外には使用しないでください。
2. ゼンソクやアレルギー症状、かぶれ等を起こしやすい体質の人は、この塗料を使わないでください。
3. 食品に直接触れる食器類や子供が使用するおもちゃ類には塗らないでください。
4. 取扱い中は、必要に応じてマスクや手袋を着用して、できるだけ有機溶剤の蒸気やガスを吸入したり、皮膚に触れないようにしてください。
5. 有機溶剤が含まれているので、塗装中、乾燥中、ともに換気をよくしてください。
6. 火気のある所では塗らないでください。
7. プライマーを吹き付けるときは、風を背後にして、人や物にかからないよう注意してください。

救急処置

- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気・ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。

火気・高温に注意

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。
1. 炎や火気の近くで使用しないこと。 2. 火気を使用している室内で大量に使用しないこと。 3. 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光のあたる所や火気等の近くなど、温度が40度以上となる所に置かないこと。 4. 火の中に入れてはいけないこと。
5. 使い切って捨てること。 高圧ガス：DME